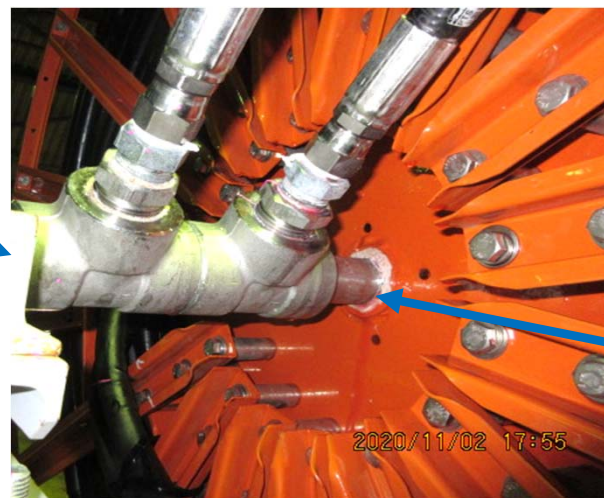


福島第一原子力発電所

3号機クレーン補巻 作動流体漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2020年11月4日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3号機燃料取り出し作業については、昨日（11月3日）、第57回目分となる取り出し作業が終了しています。（計399体/566体）
- 57回目分の作業時においてクレーン補巻を使用した際（11月2日）、補巻は使用できている状態であるものの、ホースリール付近から作動流体（水グリコール）が数秒に1滴程度、漏えいしていることを確認しました。
- 今後、暫定的な対策として吸着マットを用いて漏えい箇所を養生するとともに、足場等の準備が整い次第、燃料取り出し作業を一時的に（1～2日程度）中断し漏えい箇所の継手部分を増し締めする予定です。
- なお、作動流体の一部は使用済燃料プールへ滴下しておりますが、引火性はないものであり燃料保管への影響はなく、3号機オペフロダストモニタ等にも有意な変動はありません。
- 燃料取り出し作業の全体工程への影響はなく、2020年度末までの566体の取り出し完了に向けて、引き続き安全第一で、確実に作業を進めてまいります。



漏えい箇所